

妃殿下おことば

本日ここに、日本赤十字社静岡県支部創立百三十周年記念赤十字大会が開催され、日頃より赤十字活動に深く携わっておられるみなさまとお会いできますことを大変うれしく思います。

赤十字が今日まで続けてこられた世界各地における人道、博愛の精神に基づく活動は、多くの人々の支えなくしては成り立つものではございません。

また我が国においても、日本赤十字社が国際的な強い絆のもと、その使命を果たしてきたことは、本日ここにご参会のみなさまの尽力の賜であると、深く感謝申し上げます。

昨年来、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は日本のみならず、世界的に政治、経済、そして人々の生活に深刻な影響を与え続けて参りました。ここに感染症により命を落とされた方々を悼むとともに、様々な形で苦しんでおられる方にお見舞いを申し上げます。

このような厳しい環境下において、日本赤十字社は全国の赤十字病院による多数のコロナ感染者の受け入れや、ワクチン接種のために医療スタッフを派遣する活動、そして感染症に不安を抱える国民のみなさまのメンタルケアにつながる活動などの展開を通して、赤十字の「苦しんでいる人を救う」という使命を果たしてきたことを誠に心強く思います。

今日、世界には、相次ぐ自然災害や紛争によって人道的な支援を必要としている人々が数多くおります。国内においても、地震や豪雨などの自然災害による人々への脅威は避けられるものではありません。

近年、我が国を襲う自然災害が激甚化していると言われるなか、七月には熱海市で大規模土砂災害が発生し、多くの方が被災されました。亡くなられた方々のご冥福を祈り、被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

このような状況の中、赤十字に寄せられる期待と要請はますます高まるものと思われまます。みなさまが本日の大会を契機として、赤十字の尊い使命に改めて思い起こされ、互いに手を携えて、より一層充実した活動をすすめられるとともに、その精神が多くの人々に理解され、赤十字運動に参加する人々の輪がさらに広がっていくことを願って、式典に寄せることばといたします。